

ISID Business Report 2019.1.1-2019.6.30

iSiD
IT Solution Innovator

ごあいさつ

平素より格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年上期の業績は、売上高49,185百万円(前年同期比114.2%)、営業利益5,204百万円(同136.9%)、経常利益5,152百万円(同133.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,412百万円(同129.2%)となり、上期としてはいづれも過去最高の業績を達成しました。

デジタルトランスフォーメーションを推進する企業や公共機関の旺盛なIT投資需要を受け、すべての事業セグメントにおいて前年同期比で増収となりました。利益につきましても、販売費及び一般管理費が増加したものの、増収の効果により前年同期比で大幅な増益となりました。営業利益率10.6%についても、上期として過去最高となります。

当社グループは、今期よりスタートした中期経営計画「ISID X (Cross) Innovation 2021」において、「主力事業の進化」、「新規事業の創出」、「事業基盤の革新」の3点を基本方針に掲げ、各種取り組みを進めております。上期においては、製造業のモノづくりおよびコトづくりを支援するソリューションの強化、ならびにグローバルにおける金融ビジネスの拡大を目的に、3件の出資を行いました。また、7月1日には、新規事業の創出をミッションとする「Xイノベーション本部」を新設すると同時に、社内の事業部門間の連携を高めるため、全社横断タスクフォース「プロジェクトX(クロス)」を発足いたしました。

配当金について

当社は、「持続的な成長を実現するための内部留保を確保しつつ、適正かつ安定的な配当を継続すること」を配当方針として掲げ、連結配当性向は40%以上を目安としております。第2四半期末の配当につきましては、予定どおり1株当たり35円とさせていただきます。

通期の経営方針について

米中通商問題による影響や中国経済の減速等から先行きに不透明感が増していますが、FinTech、デジタルマーケティング、スマートエンタープライズ、モノづくり等の領域において、企業や社会の変革を目指す動きはますます加速していると日々実感しています。下期についても、これらの領域に引き続き注力することにより、通期目標(売上高930億円、営業利益85億円)の達成を目指してまいります。

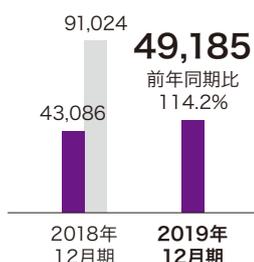
より一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役 **石和亮一**

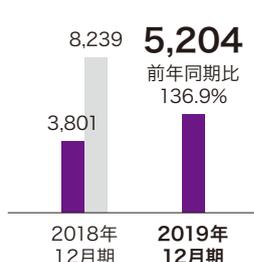


業績ハイライト

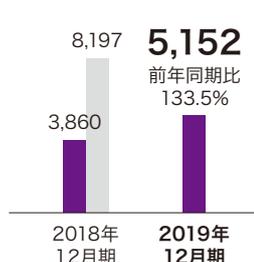
売上高



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 四半期純利益



(単位:百万円)

■:第2四半期累計
■:通期

事業セグメント別の営業概況

金融ソリューションセグメント

金融機関をはじめ企業における各種金融業務を支援するITソリューションの提供

政府系金融機関および事業会社向けの案件が拡大したことから、増収となりました。利益については、システム開発において外注費を中心に原価が増加したため、前年同期並みとなりました。

売上高		営業利益	
当期	12,240百万円	当期	717百万円
前年同期	10,599百万円	前年同期	715百万円
前年同期比	115.5%	前年同期比	100.3%

ビジネスソリューションセグメント

基幹システムや経営・人事管理分野を対象としたITソリューションの提供

人事管理ソリューション「POSITIVE」、連結会計ソリューション「STRAVIS」およびSAPやOracle等ERP分野におけるソフトウェアの販売・導入が拡大したことから、増収増益となりました。

売上高		営業利益	
当期	9,572百万円	当期	1,118百万円
前年同期	7,933百万円	前年同期	261百万円
前年同期比	120.7%	前年同期比	428.4%



製造ソリューションセグメント

製造業の製品開発/製造/販売/保守にわたる製品ライフサイクル全般を対象とするITソリューションの提供

CAE^{※1}、スマートファクトリー領域のソフトウェアおよびMBSE^{※2}ソリューション「iQUAVIS」の販売・導入が拡大したことから、増収となりました。利益については、人員増により人件費が増加したことから、減益となりました。

売上高		営業利益	
当期	15,140百万円	当期	1,206百万円
前年同期	14,579百万円	前年同期	1,333百万円
前年同期比	103.8%	前年同期比	90.5%

コミュニケーションITセグメント

電通グループに対する基幹システムの提供、および電通グループとの協業によるITソリューションの提供

電通グループの基幹システム領域において大型のシステム更改案件が始まったことに加え、電通グループとの協業によるビジネスが公共機関向けを中心に大幅に拡大したことから、増収増益となりました。

売上高		営業利益	
当期	12,231百万円	当期	2,162百万円
前年同期	9,974百万円	前年同期	1,491百万円
前年同期比	122.6%	前年同期比	145.0%

※1 CAE: Computer Aided Engineering。試作品によるテストや実験のかわりに、コンピュータを用いてシミュレーションし分析する技術。

※2 MBSE: モデルベース・システムズ・エンジニアリング。実機試作を極力行わず、実験からの統計データや物理現象を記述する数式などの「モデル」を用いたシミュレーションを活用して、トップダウン型で製品開発を行う手法。

TOPICS

出資

FAプロダクトとスマートファクトリー分野で 資本・業務提携

スマートファクトリー分野で先進的な取り組みを続ける株式会社FAプロダクトと資本・業務提携しました。製造業に向け、ISIDが持つ設計領域における知見と、同社が有する製造領域における知見を融合し、デジタルツインを活用した革新的な生産ラインの構築を支援するパッケージソリューションを共同で開発・提供してまいります。(2019年3月発表)



インドネシアでIT事業を展開する Ebiz Cipta Solusiを子会社化

インドネシアで金融当局向け報告ソリューションをはじめソフトウェア販売や技術支援サービスの提供等を手掛けるPT. Ebiz Cipta Solusiを子会社化しました。ISID上海が開発したリース&ファイナンスソリューション「Lamp」等の販売を加速し、インドネシアにおける金融ソリューション事業の拡大を目指します。(2019年4月発表)

スマートホールディングスと資本・業務提携

製造業向けITソリューション事業を展開するスマートホールディングス株式会社と資本・業務提携しました。自動車業界向けのSI事業を強化・拡充すると共に、CASE対応をはじめとする自動車各社の事業革新に貢献してまいります。(2019年5月発表)

FinTech拠点を運営する合併会社 「株式会社FINOLAB」を設立

三菱地所株式会社とISIDは、かねてより共同で運営してきたFINOLABの運営組織を法人化し、「株式会社FINOLAB」を設立しました。新会社は、従来のFINOLABのコミュニティ運営を引き継ぎ、さらに強化するとともに、オンライン環境とリアルな施設を融合した事業創出基盤「FINOLAB SANDBOX (仮称)」を新たに構築、またスタートアップによる最新のFinTechサービスを法人としていち早く実導入し、評価する体制を整えてまいります。(2019年7月発表)



先端技術への取り組み

職人の能力をAIで継承する 「プロジェクト 匠テック」を電通と開始

ISIDのオープンイノベーションラボと電通は、少子高齢化等の社会構造の変化を背景に、熟練の職人が持つ技能継承が課題となっている様々な産業において、その技能をAIをはじめとした技術を活用して継承する取り組み「プロジェクト 匠テック」を開始しました。その取り組みの一環として、双日株式会社と共同で、マグロの品質判定を行う画像解析AIシステム「TUNA SCOPE」を開発しました。(2019年5月発表)



プロフィール

会社概要

社名	株式会社電通国際情報サービス
本社	東京都港区港南二丁目17番1号
設立	1975年12月11日
連結従業員数	2,867名(2019年6月末現在)
連結子会社数	15社(国内8社・海外7社)
URL	www.isid.co.jp

取締役および監査役

取締役会長	釜井 節生	取締役	一條 和生(社外・独立)
代表取締役社長	名和 亮一	取締役	村山 由香里(社外・独立)
取締役	豊田 操	取締役	樽谷 典洋
取締役	上原 伸夫	常勤監査役	中込 洋之介(社外)
取締役	市川 建志	監査役	笹村 正彦(社外・独立)
取締役	梅沢 幸之助	監査役	上地 龍彦
取締役	吉本 敦		
取締役	小林 明		

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月
配当金受領株主確定日	期末配当金12月31日／中間配当金6月30日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
(同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel.0120-232-711(通話料無料)(平日9:00～17:00)
(同郵送先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。

IRサイトのご案内 www.isid.co.jp/ir/



当社のIRサイトでは、最新ニュースや資料のほか、個人投資家様向けの各種情報を掲載しております。

また、適時開示情報のメール配信サービスもご提供しております。ぜひ、メールアドレスをご登録ください。

個人投資家の皆様へ

沿革、事業概要などの企業情報、ならびに業績推移、株主総会などのIR情報をまとめて掲載しております。

メール配信登録

適時開示情報をお知らせいたします。

お問い合わせ先

株式会社 電通国際情報サービス

銘柄コード: 4812(銘柄名: ISID)

〒108-0075 東京都港区港南2-17-1

03-6713-6160(IR関連) 03-6713-6055(株式事務関連)

www.isid.co.jp(当社Webサイトからもお問い合わせいただけます)

*本レポートに記載されている会社名、製品名、サービス名およびロゴは、ISIDもしくは各社の商標または登録商標です。